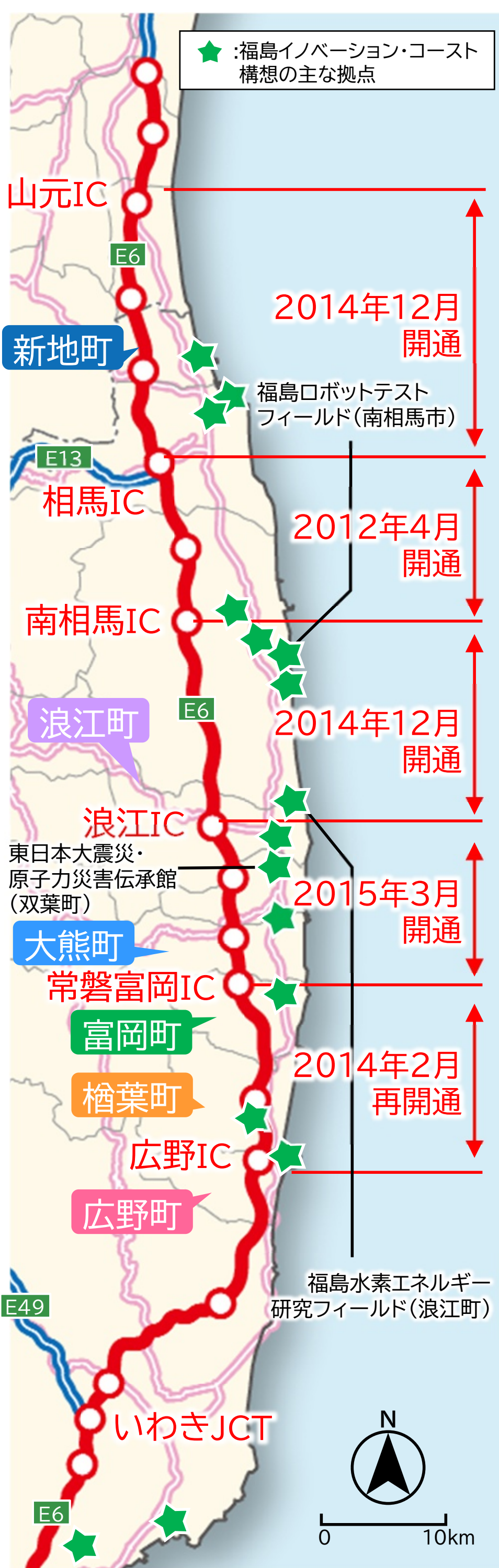


地域への企業進出を支援

- 東日本大震災・原子力災害で失われた浜通り地域等の産業回復のため、福島イノベーション・コースト構想を2017年に国家プロジェクトとして位置づけ。
- 震災以降、常磐道開通や避難指示解除に伴い**事業所数が最大35倍**、**従業員数が最大17倍**に増加するなど、常磐自動車道各区間の開通が産業や地域の活性化に寄与。

福島イノベーション・コースト構想の主な拠点等



福島イノベーション・コースト構想

震災と福島第一原子力発電所の事故によって大きく被災した福島県浜通り地域等の産業を回復することを目指した国家プロジェクト。新技術やイノベーションを生み出しながら、「廃炉」「ロボット・ドローン」「エネルギー・環境・リサイクル」「農林水産業」「医療関連」「航空宇宙」の重点6分野を軸に最先端の取組みが進められている。

構想に関連する施設



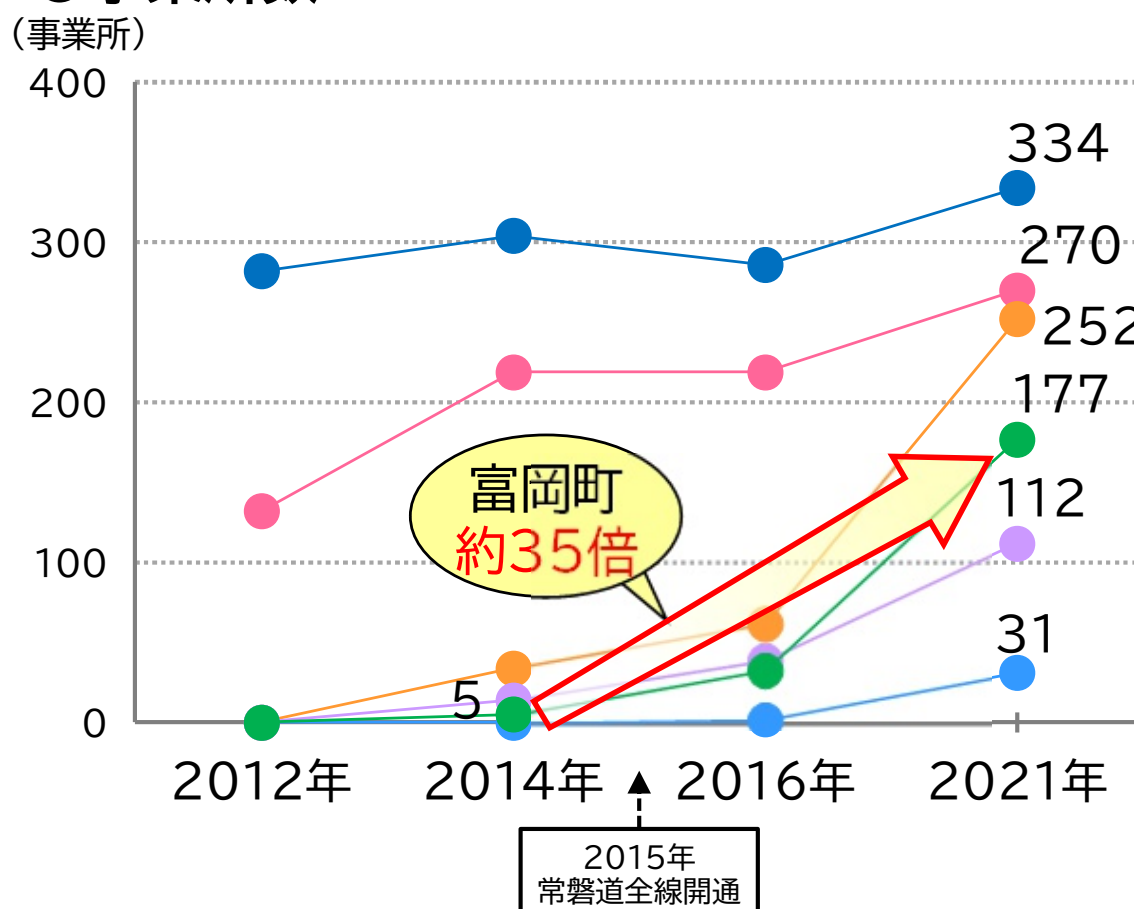
福島水素エネルギー研究フィールド(浪江町)
【写真】国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構提供



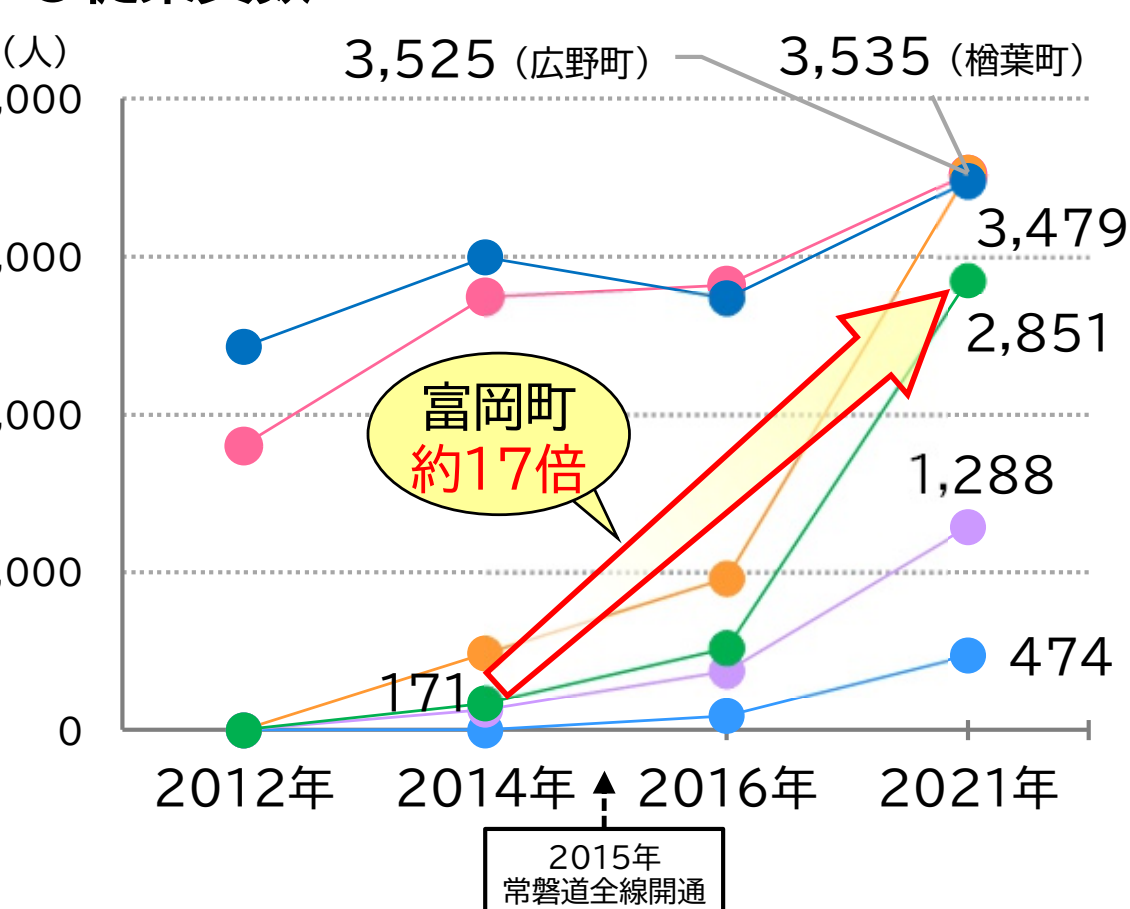
福島ロボットテストフィールド(南相馬市)
【写真】公益財団法人
福島イノベーション・コースト構想推進機構提供

沿線自治体の事業所・従業員数の推移

●事業所数



●従業員数



【資料】企業統計調査、経済センサス
※2020年～2022年:新型コロナウイルス感染症対策期間(緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置)が含まれる。

- 浜通り地域等15市町村においては、震災以降補助金の採択ベースで400件以上の企業立地や4,000人を上回る雇用が生まれ、帰還者や移住・定住者も増加し、常磐自動車道は大いに寄与しているものと考えられます。
- 首都圏に拠点を持つ事業者は、常磐自動車道を利用して、福島ロボットテストフィールドと往来していると考えられます。全線開通により、原発事故被災地に立地している企業の雇用にも一定の影響を与えていると思われます。



沿線自治体の声
ヒアリング結果
(2024年9月)